



都レンジャー NEWS

小笠原 号外版
Vol. 10
2011. 2発行

聳島列島アホウドリ類調査

平成22年12月14日～15日に聳島列島のアホウドリ類の営巣状況調査を実施しました。父・母鳥の都レンジャーが各1名づつ調査に同行しました。今回の調査では、約1108羽の営巣が確認されました。この情報をもとに23年5月頃に足環標識調査を実施します。



調査の様子



抱卵中のクロアジアアホウドリ（嫁島）

★ 都レンジャーNEWSはHPでもご覧になれます！⇒ URL <http://www.soumu.metro.tokyo.jp/07ogasawara/55ranger/home.htm> ★

足環標識調査とは？

アホウドリ類の足環標識調査とは、東京都が30年程前から実施している調査です。この調査は、その年に産まれたアホウドリ類のヒナに足環をつけて、個体数の増減や繁殖地への回帰状況などを調べるために実施しています。



足環標識：金属（左）・カラー（右）

左脚には金属製、右脚にはプラスチックのカラーの足環を装着します。足環は色や番号で装着した年や場所が分かるようになっています。

現在、小笠原諸島ではクロアジアアホウドリの繁殖が増加傾向にあります。しかしながら世界的には絶滅危惧種に指定されるなど、非常に数の少ない種類です。

都レンジャーは、父母鳥の属島にてクロアジアアホウドリの営巣状況を定期的に確認しています。島の周辺でアホウドリ類を見つけた時は、ぜひ都レンジャーにも情報提供をお願いします。

アホウドリってどんな鳥！？

小笠原で見られるアホウドリの仲間は、アホウドリ・コアホウドリ・クロアシアホウドリの三種類。

とても大きな翼を持っています。

翼を広げるとなんと2m以上！！

海上を飛び回りながら海面に

漂うイカや小魚を食べています。

彼らが陸地に降りるのは繁殖期

のみ。とても愉快的なダンスで相手を

捜し、卵を産み子育てを行う間だけ

陸地を利用するのです。



豆知識その一

ひとくちにアホウドリと言っても、

世界に14種類いて、ハイイロアホウドリ

マユゲアホウドリ、ワタリアホウドリ

といった名前がつけられています。

それらの中で、唯一頭に何もつけないの

が『アホウドリ』です。

豆知識その二

主な食べ物は、甲殻類

イカ類、水面近くを泳ぐ

魚を食べます。

深海性のアミやイカな

どは夜になると水面に浮

かび上がってくるので、ア

ホウドリは水中に潜らず

水面に浮かびながら獲物

を嘴で捕らえます。

海面に漂うクジラやサ

メの死骸を食べることも

あります。



アホウドリ(亜成体)

翼開長 2.3m

体重 5〜7kg

小笠原には近年2〜3羽の

飛来はあるが繁殖はしていない。

一夫一妻制で少産長寿と言

われている。

*亜成体とは成体と幼体の中間。

クロアシアホウドリ

翼開長 2.13m

体重 3.5〜4kg

小笠原では現在

髯島・父島・母島列島で繁殖。

全身が黒い。

コアホウドリ

翼開長 2m

体重 2.5〜3kg

小笠原諸島髯島で少数が繁殖。

ハワイ諸島やミッドウェイ諸島

が大繁殖地。目の周囲がアイ

シヤドウを塗ったように黒いのが特徴。